

# 工場案内



## 三菱製紙株式会社 白河事業所

三菱製紙グループ

三菱製紙エンジニアリング株式会社 白河事業所  
白菱ペーパーテクノロジー株式会社  
菱紙株式会社 白河営業所

# 概要

## ◆三菱製紙株式会社 白河事業所

### プレスボード事業室 <http://www.mpm.co.jp/pb/>

変圧器・他の絶縁材料に用いられる絶縁紙「プレスボード」を販売しています。

高品質クラフトパルプ100%と良質な源泉を利用した工業用水から製造される「プレスボード」は、世界トップクラスの品質評価により世界でも類を見ない1000kV用変圧器など大容量・高電圧の変圧器に採用されています。

また、高速社会の象徴である新幹線には、アラミド繊維を主原料とする絶縁紙「耐熱プレスボード」が使われています。

### 生産技術センター

印刷用紙、情報用紙、不織布などの製品試作や品質評価を行っています。

### エコシステムアカデミー <http://ecosystemacademy.jp/>

「森のめぐみの体験学習」を通じて、皆様に環境について理解していただく活動をしています。

## ◆三菱製紙グループ

### 三菱製紙エンジニアリング株式会社 白河事業所

#### <http://www.mpec-mpm.co.jp/>

三菱製紙で培ってきた技術をベースとした総合エンジニアリング会社です。大型プラントの建設から機器の保守点検に至るまで幅広く請け負います。

### 白菱ペーパーテクノロジー株式会社

三菱製紙・プレスボード事業の生産販売会社として社会に貢献しております。

### 菱紙株式会社 白河営業所

保険業務、物品(三菱製紙株式会社「ナクレ」)の販売を行っています。

## アクセス図



#### ◆所在地

〒961-8054  
福島県西白河郡西郷村字前山西3番地  
☎ 0248(22)8111

#### ◆交通

東北新幹線「新白河」駅より徒歩 約10分  
【仙台宮城I.C.】  
東北自動車道約2時間(約170km)→【白河I.C.】  
→約9分(約2km)→【三菱製紙白河事業所】  
【浦和I.C.】  
東北自動車道約2時間(約170km)→【白河I.C.】  
→約9分(約2km)→【三菱製紙白河事業所】

# グループ企業理念

世界市場で  
お客様の信頼に応える  
企業グループ

常に技術の  
先端を行く  
企業グループ

地球環境保全、  
循環型社会に貢献する  
企業グループ

世界市場、技術力、地球環境のアプローチから、  
社会に貢献することを目指します。

## 本社・生産拠点



### 白河事業所(プレスボード)

〒961-8054 福島県西白河郡西郷村字前山西3番地

☎ 0248(22)8111

#### 本社

〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号(両国シティコア)

☎ 03(5600)1488

#### 高砂工場(ノーカーボン紙、感熱紙、インクジェット用紙、不織布、特殊紙)

〒676-8677 兵庫県高砂市高砂町栄町105番地

☎ 079(442)3101

#### 京都工場(写真印画紙、印刷製版材料、写真インクジェット用紙)

〒617-8666 京都府長岡京市開田1丁目6番6号

☎ 075(951)1181

#### 八戸工場(エム・ピー・エム・オペレーション株式会社)

(塗工印刷用紙、非塗工印刷用紙、高級白板紙、特殊白板紙、PPC用紙)

〒039-1197 青森県八戸市大字河原木字青森谷地

☎ 0178(29)2111

#### 北上事業本部(北上ハイテクペーパー株式会社)

(写真印画紙用原紙、衛生用紙)

〒024-0051 岩手県北上市相去町笹長根35番地

☎ 0197(67)3211

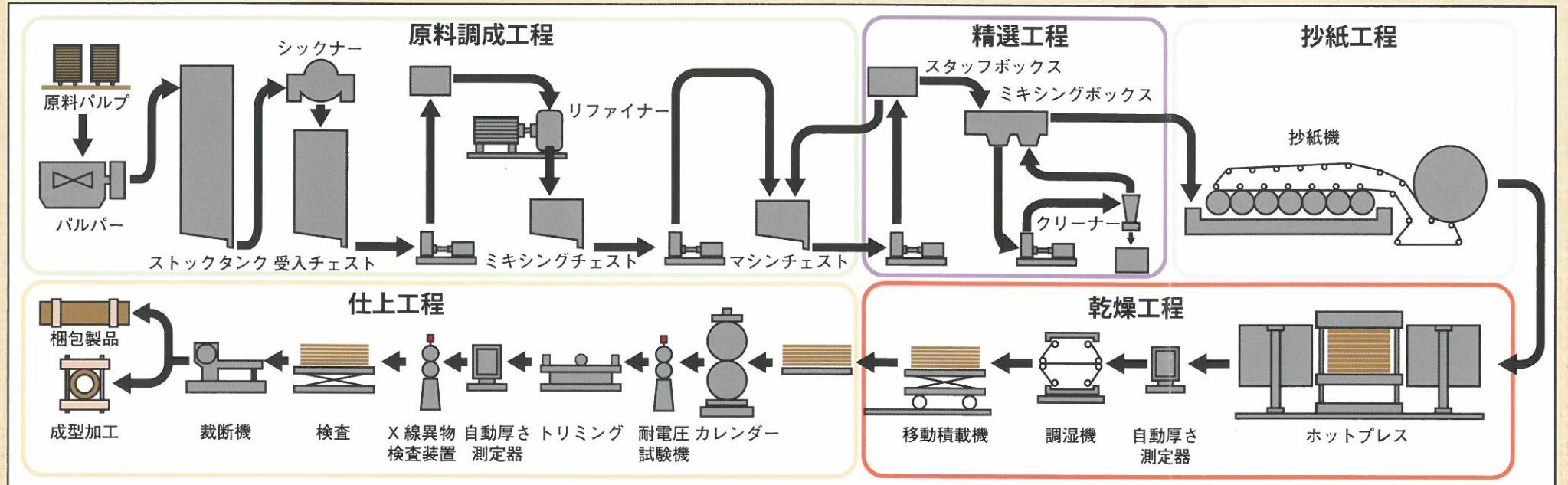
#### KJ特殊紙株式会社 富士工場

(化粧板原紙、含浸化粧シート、壁紙裏打紙、テープ原紙、他)

〒417-0004 静岡県富士市新橋町7-1

☎ 0545(52)4075

# プレスボード事業室・白菱ペーパーテクノロジー株式会社（プレスボード製造工程）



## 主要製造設備

工程	設備
原料調成	パルパー、リファイナー
精選	クリーナー
抄紙	円網抄紙機
乾燥	多段式ホットプレス 2,350mm×4,000mm 長さ ×3式 自動厚さ測定器、調湿機、移動積載機
仕上げ選別・梱包	カレンダー、耐電圧試験機、 X線異物検査装置、裁断機、自動厚さ測定器
成型加工	加工プレス、加工用成型機械各種、X線異物検査装置

## 生産技術センター



抄紙機・コーティングなどのテストプラント、市場と同水準の製版・印刷機を運用し、製品試作や品質評価、更には当社製品の特長をわかり易くお伝えするための製品見本の作製、新規用途開発などを行っております。

また、「印刷技能士」の国家資格を持つスタッフが多数在籍しており、その専門性を活かした、お客様への技術指導、新技術のご提案の他に、生産技術開発、現象解析などの研究開発業務にも取り組んでおります。

## エコシステムアカデミー

### コンセプト

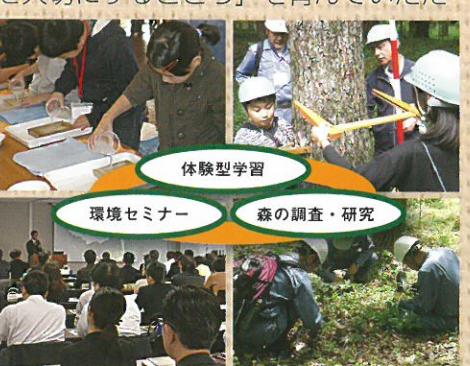
三菱製紙グループは、地球環境保全、循環型社会の構築に積極的に貢献できる企業グループを目指しており、地球温暖化防止、生物多様性保全に努めるとともに、森林資源の持続可能な利用を通じて、社会からの信頼に応えるべく努力しています。そのような企業の姿勢を具体化する手段の一つとして「エコシステムアカデミー」を設立しました。

### ミッション

森のめぐみと自然・産業のコラボレーションをテーマとした「体験型学習の場」を提供し、皆様に、製紙メーカーによる森林保全の観点から、地球温暖化防止や生物多様性について理解し、「森を大切にすること」を育んでいただることです。

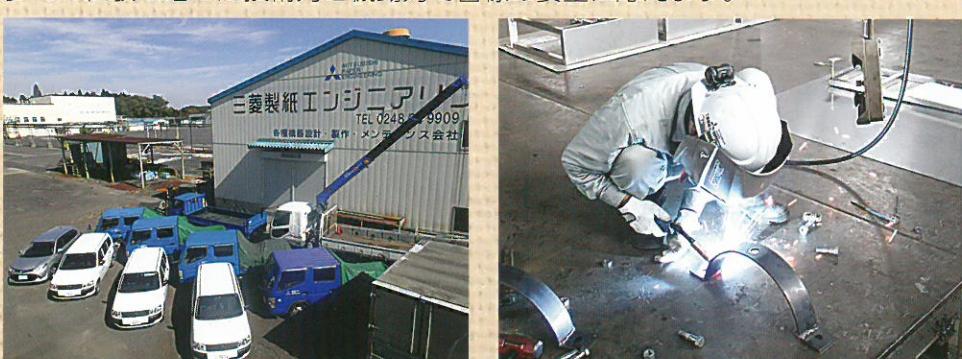
### アクション

森のめぐみをテーマとした、「体験型学習」「森の調査・研究」「環境セミナー」を3本柱として活動しています。



## 三菱製紙エンジニアリング株式会社 白河事業所

多くの経験で培った技術力と機動力で皆様の要望に応えます。



# 当社の歴史

1898年(明治31年) 4月	神戸市三宮において、米国人ウォルシュ氏兄弟が経営していた「神戸ペーパーミル」を岩崎久弥氏が譲り受け、「合資会社神戸製紙所」(資本金50万円)を設立。
1901年(明治34年) 7月	兵庫県高砂市に工場移転(現高砂工場)。
1917年(大正6年) 2月	東京都葛飾区に中川工場新設(平成15年閉鎖)。
1917年(大正6年) 11月	組織を株式会社に変更、社名を「三菱製紙株式会社」と改称。
1925年(大正14年) 12月	本社を兵庫県高砂市から東京都千代田区丸の内に移転。
1944年(昭和19年) 2月	京都写真工業株式会社を吸収合併(現京都工場)。
1944年(昭和19年) 8月	浪速製紙株式会社を吸収合併、浪速工場と改称(昭和41年閉鎖)。
1966年(昭和41年) 4月	白河パルプ工業株式会社と合併(現白河事業所、北上ハイテクペーパー(株))。
1966年(昭和41年) 4月	青森県八戸市に八戸工場新設。
1970年(昭和45年) 9月	中央研究所(東京都葛飾区)竣工。
1989年(平成元年) 1月	筑波研究所(茨城県つくば市)竣工(現つくばR&Dセンター)。
1989年(平成元年) 8月	デュッセルドルフ(ドイツ)に、現地法人 Mitsubishi Paper GmbH を設立。
1990年(平成2年) 8月	三菱商事と合併でチリに Forestal Tierra Chilena Ltda. を設立し、海外植林事業に着手。
1995年(平成7年) 1月	ニューヨーク(アメリカ)に合弁販社 Mitsubishi Imaging, Inc. を設立。
1999年(平成11年) 1月	ドイツの製紙会社2社の株式を取得。
2005年(平成17年) 4月	北上工場事業を分社化、北上ハイテクペーパー株式会社を設立。
2007年(平成19年) 11月	中国に珠海清菱浄化科技有限公司を設立、中国でのフィルター製品加工事業を開始。
2008年(平成20年) 4月	メキシコに MP Juarez を設置、北米でのインクジェット用紙加工事業を開始。
2011年(平成23年) 11月	興人の化学紙事業子会社であるKJ特殊紙株式会社を子会社化。
2012年(平成24年) 11月	本社を東京都墨田区両国2丁目10番14号に移転。

# 当事業所の歴史

1950年(昭和25年) 3月	「白河製紙株式会社」を設立。
1951年(昭和26年) 4月	社名を「白河パルプ工業株式会社」と改称。
1957年(昭和32年) 2月	未晒クラフトパルプ生産能力10,000t/年。
1959年(昭和34年) 4月	晒クラフトパルプ設備完成。生産能力40,000t/年。
1966年(昭和41年) 4月	二酸化塩素漂白法装置完成。晒・未晒クラフトパルプ生産能力60,000t/年。
1969年(昭和44年) 11月	三菱製紙株式会社と合併により同白河工場となる。
1971年(昭和46年) 11月	No.3回収ボイラーコンストラクション完成。生産能力100,000t/年となる。
1982年(昭和57年) 12月	プレスボード製造設備新設。
1986年(昭和61年) 12月	パルプドライ化設備完成。
1994年(平成6年) 3月	No.4回収ボイラーコンストラクション完成。生産能力132,000t/年となる。
1998年(平成10年) 4月	パルプ製造を休止。
2002年(平成14年) 11月	機能性材料(OPC)製造設備完成(平成18年に営業権・設備を売却)。
2006年(平成18年) 10月	総合研究所生産技術センターを白河へ移転。
2007年(平成19年) 4月	プレスボード生産部門を白菱興業(株)(現白菱ペーパーテクノロジー(株))へ事業譲渡。
2009年(平成21年) 2月	リライト製造設備を高砂工場へ移転。「白河事業所」と改称。
	Aボード製造設備新設。

- MEMO -



この用紙はニューVマット FSC®認証-MX 157.0g/m<sup>2</sup>を使用しています。

<1610-0500>